

8.11 廃棄物

8.11.1 調査事項

調査事項は、表 8.11-1 に示すとおりである。

表8.11-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等
予測条件の状況	・ 施設の利用者数
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新宿区の分別方法に従い、古紙（段ボールを含む。）、びん、缶、ペットボトルは、資源として分別回収を行う計画としている。 ・ 新宿区の分別方法に従い、容器包装プラスチック、スプレー缶、カセットボンベ、乾電池、蛍光灯についても、資源として分別回収を行う計画としている。 ・ 飲食事業等から発生する廃棄物については、極力発生量を減らし、発生する廃棄物に対しては、再資源化が図れるように適切な分別を実施する計画としている。 ・ スポーツ大会、イベントの開催時において発生する廃棄物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、各事業者が“事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理”する必要があるため、大会やイベントの開催事業者への十分な周知を行い、開催事業者が処理・処分を行うように調整する計画としている。 ・ 再利用・再資源化率に関しては、旧国立霞ヶ丘競技場におけるリサイクル率以上の目標設定について、検討する計画としている。 ・ 産業廃棄物が発生した場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び東京都廃棄物条例に基づき、収集・運搬・処分の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して処理・処分を行い、その状況はマニフェストにより確認する計画としている。 ・ 敷地内樹木からの落ち葉をコンポスト化し、植栽の肥料に利用する事で資源循環を図る計画としている。

8.11.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.11.3 調査手法

調査手法は、表 8.11-2 に示すとおりである。

表8.11-2 調査手法

調査事項		施設等の持続的稼働に伴う廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等
調査時点		施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とした。
調査期間	予測した事項	2021年の適宜とした。
	予測条件の状況	2021年の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	2021年の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とした。

8.11.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件の状況

ア. 施設等の持続的稼働に伴う廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等

本施設の年間の稼働日数は、2019年11月30日の竣工以降、東京2020大会期間を除いて、10日以下である。また、コロナ禍に伴う緊急事態宣言発出等もあり、開催されたイベントでは、観客数の制限等も行われた。そのため、施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点の廃棄物に関する調査は実施できなかった。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.11-3(1) 及び(2) に示すとおりである。なお、廃棄物に関する問合せはなかった。

表8.11-3(1) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・新宿区の分別方法に従い、古紙(段ボールを含む。)、びん、缶、ペットボトルは、資源として分別回収を行う計画としている。
実施状況	新宿区の分別方法に従い、廃棄物の分別を行っている。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>分別回収の状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>廃棄物保管場所</p> </div> </div>	
ミティゲーション	・新宿区の分別方法に従い、容器包装プラスチック、スプレー缶、カセットボンベ、乾電池、蛍光灯についても、資源として分別回収を行う計画としている。
実施状況	新宿区の分別方法に従い、容器包装プラスチック、スプレー缶、カセットボンベ、乾電池、蛍光灯についても、資源として分別回収を行っている。
ミティゲーション	・飲食事業等から発生する廃棄物については、極力発生量を減らし、発生する廃棄物に対しては、再資源化が図れるように適切な分別を実施する計画としている。
実施状況	イベント開催に際し、チケット販売状況をこまめに売店事業者に共有することで、食品ロスが出ないように売り上げ見込みを立てている。売店事業者にて新宿区の資源回収ルールに基づき適切に廃棄物の分別化を行い処理している。
ミティゲーション	・スポーツ大会、イベントの開催時において発生する廃棄物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、各事業者が“事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理”する必要があるため、大会やイベントの開催事業者への十分な周知を行い、開催事業者が処理・処分を行うように調整する計画としている。
実施状況	スポーツ大会、イベント開催時に発生した廃棄物は、開催事業者の責任において処理・処分するよう指導している。
ミティゲーション	・再利用・再資源化率に関しては、旧国立霞ヶ丘競技場におけるリサイクル率以上の目標設定について、検討する計画としている。
実施状況	再利用・再資源化率に関しては、旧国立霞ヶ丘競技場におけるリサイクル率以上の目標設定を今後検討していく。

表8.11-3(2) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・産業廃棄物が発生した場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び東京都廃棄物条例に基づき、収集・運搬・処分の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して処理・処分を行い、その状況はマニフェストにより確認する計画としている。
実施状況	産業廃棄物については、収集・運搬・処分の許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して処理・処分を行い、その状況をマニフェストにより確認している。
ミティゲーション	・敷地内樹木からの落ち葉をコンポスト化し、植栽の肥料に利用する事で資源循環を図る計画としている。
実施状況	敷地内樹木からの落ち葉のコンポスト化は、現状では未実施であるが、今後は敷地内の維持管理事業者へ委託し、活用を図ることとしている。